



高電圧バッテリー

(リチウムイオンバッテリー)

回収・リサイクルマニュアル

日本国内 自動車解体事業者様向け

搭載車両型式

XC90: DLA-LB420XCPA/ 5LA-LB420XCPA

XC60: DLA-UB420XCPA/ DLA-UB420XCP

5LA-UB420XCPA/5LA-UB420XCP

V90 : DLA-PB420PA/ 5LA-PB420P

S60, V60: 5LA-ZB420P/5LA-ZB420PT6

2022年5月

ボルボ・カー・ジャパン株式会社

(2022年5月改定 V 1.3)

発行 ボルボ・カー・ジャパン株式会社

高電圧バッテリーの回収については、下記にお問い合わせください。

カスタマーセンター
TEL 0120-55-8500 (フリーダイヤル)

フリーダイヤル受付時間 : 9:00~18:00

(2022年 5月改定)

本マニュアルの内容は予告なく変更する場合があります。

※本マニュアルはボルボ・カー・ジャパンのホームページ内、以下の URL に掲載しています。
<http://www.volvocars.com/jp/about/our-company/phev-rescue>

目 次

1. はじめに.....	2
2. ハイブリッド車の特徴.....	4
3. 高電圧バッテリーの回収・リサイクルシステム概要.....	7
4. 高電圧作業 準備品一覧.....	9
5. 絶縁手袋 使用前点検.....	10
6. 高電圧作業上の諸注意.....	11
7. 高電圧バッテリーの取り扱いについて.....	14
8. 高電圧バッテリー液漏れ時の注意事項.....	15
9. 高電圧バッテリー火災時の対応.....	16
10. 高電圧バッテリーの引き取りをお断りする場合.....	17
11. 高電圧バッテリーの取り外し方法.....	18
別紙	
高電圧バッテリーの取引依頼票.....	29

はじめに



1. はじめに

本マニュアルは、日本国内の自動車解体事業者様向けに作成したものです。

ボルボ・カー・ジャパン（株）が製造する一部の車両には、駆動用として高電圧バッテリー（リチウムイオンバッテリー）が搭載されています。高電圧バッテリーを搭載した車両を廃車解体処理する場合には、安全確保のため、車種・型式を確認の上、必ず事前に本マニュアルをお読みいただき、安全な取り外し作業を行っていただくと共に、バッテリーの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

安全に関する表示について

本書で使用しているマークと意味は以下のようになっています。必ずお読みください。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負ったり車両の傷害につながる可能性のあるもの
参考	知っておいていただきたいこと 知っておくと便利なこと

はじめに

使用済み高電圧バッテリーの安全な回収のために

(1) 事故車、水没車などでは高電圧バッテリーに変形、漏電、液漏れが発生している可能性がありますのでご注意ください。

このような車両から高電圧バッテリーを取り外す際は、感電、液漏れに対して必要な保護具を装備するなど、安全確保のために十分ご注意ください。また、そのままの状態では運搬できません。

いずれの場合も、お客様相談室までご連絡ください。

(2) マニュアルサービスディスコネクター (MSD) を必ず引き抜いてください。

高電圧バッテリー取り外し作業を行う前に、必ずマニュアルサービスディスコネクター (MSD) を引き抜いてください。マニュアルサービスディスコネクター (MSD) を引き抜かず高電圧部位の解体、高電圧の配線 (オレンジ色) およびそのコネクターの取り外し、分解、切断などを行うと、生命にかかわる重大な傷害を引き起こすおそれがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。

(3) 転売・譲渡・改造等をしないでください。

高電圧バッテリーが適切に回収されずに第三者が高電圧部位等に触れた場合、感電事故などが発生するおそれがあり大変危険です。

廃車より取り外された高電圧バッテリーは事故防止のため、速やかな回収を行っていますので、添付のボルボ使用済みリチウムイオンバッテリー引取依頼書に必要事項を記入のうえ、FAXしてください。

適切に回収されず、事故が起こる場合として、次のようなことが想定されます。

- 1) 適切に回収されず、不法投棄または放置され、第三者が高電圧部位に触れてしまい、感電事故が発生する。
- 2) 用途 (専用のハイブリッド車) 以外で高電圧バッテリーを使用 (改造等を含む) し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、電解液漏出事故等が発生し、人体に重大な危害や周辺の物に損害を加える。特に、転売・譲渡等を行うと、相手方でこれらの危険性が認識されず、事故につながり易くなります。

ボルボ・カー・ジャパン (株) では転売・譲渡等による専用車両以外への高電圧バッテリー使用 (改造等を含む) による事故・損害等については責任を負いかねます。

転売・譲渡等の結果、事故防止を目的とする使用環境の制限、使用条件の制限、設置据付条件の制限、使用前準備の制限、使用者の制限、予測される誤使用の禁止、保守・点検、異常時の処置等についての告知がされないことにより、その後の使用者等において危険性が認識されず、事故につながるおそれがありますので、転売・譲渡等を行わないでください。事故が起こった場合、転売・譲渡等を行った事業者等の責任が問われる可能性があります。

高電圧バッテリーの所有権は、解体事業者様が回収事業者に引き渡した時点で、解体事業者様から移転するものとします。

ハイブリッド車の特徴

2. ハイブリッド車の特徴

当車両は、400V以上の高電圧システムを備えています。

(1) 高電圧に対する車両の安全対策

1) 安全対策

•高電圧に対し、以下の安全対策を施しています。

絶 縁	高電圧回路は、プラス/マイナス両極とも車体と絶縁しています。
接触防止	電圧電導部に直接触れられないよう、高電圧部位や高電圧ケーブルにはケース/カバーを設定しています。
識 別	高電圧部品には警告ラベルを貼り付けし、高電圧ケーブルはオレンジ色の被服で統一しています。

2) 高電圧システムの遮断

•当車両は、ケガまたは事故に繋がる危険性を最小限にするため、以下の高電圧回路を遮断するシステムを備えています。

マニュアルサービス ディスコネクター (MSD)	高電圧回路上にあり、手動で引き抜くことにより高電圧回路を遮断します。
--------------------------------	------------------------------------

(2) 高電圧ケーブルおよび機器の識別

- 高電圧機器およびケーブルは以下を行うことで、他の部位との識別を行っています。
絶縁手袋を装着していない状態で、高電圧遮断前の高電圧ケーブル、マニュアルサービスディスコネクター (MSD) および高電圧警告ラベルが貼り付けられている機器には、絶対に触れてはいけません。
 - 高電圧ケーブルおよびマニュアルサービスディスコネクター (MSD) をオレンジ色で統一しています。
 - 高電圧機器に内部が高電圧であることを示す警告ラベルを貼り付けています。

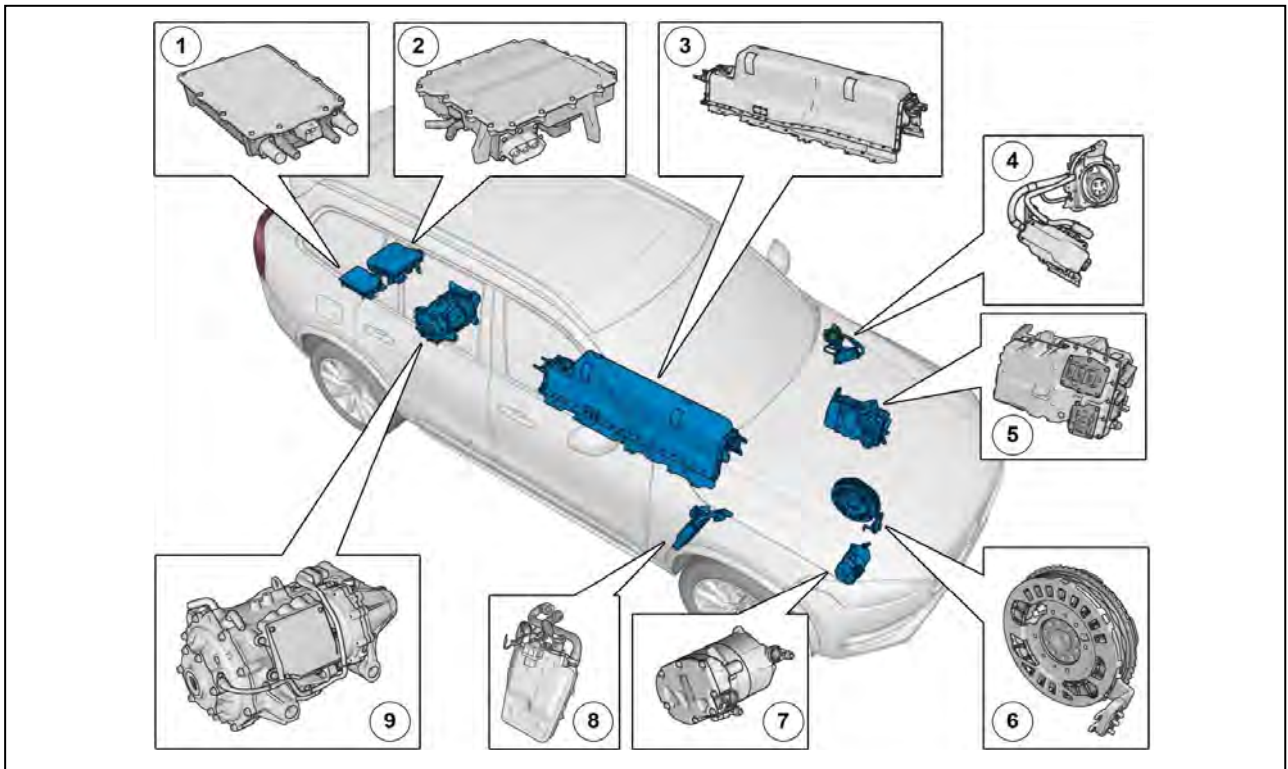
ハイブリッド車の特徴

(3) 高電圧部品

•高電圧部品は、以下のとおり配置されています。

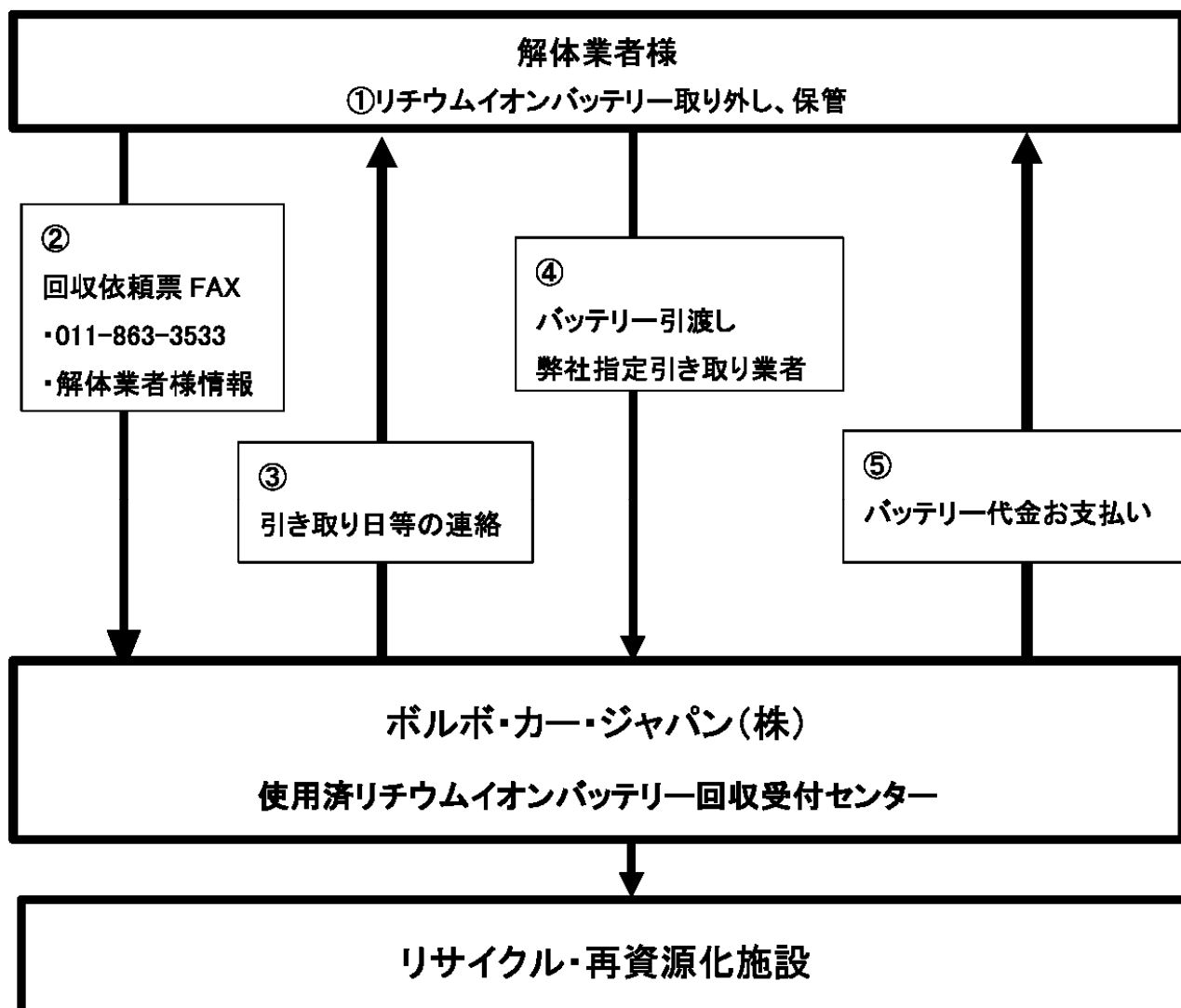
番号	構成部品	配置	説明
1.	オンボードチャージャー (OBC)	車両後部	OBCは、充電ソケットの三相交流電圧を、高電圧バッテリー充電用の高圧直流電流に変換するチャージャーです。
2.	インバーターERADモジュール (IEM)	車両後部	IEMは、高電圧DC電圧を三相AC電圧に変換します。
3.	高電圧バッテリー	車両下部	車両駆動用の電力を蓄え出力します。リチウムイオンバッテリーを採用しています。
4.	チャージングインプットソケット	フロントフェンダー内	車両の充電ポイントから12Vバッテリーに充電することで、高電圧セクションの機能を有効にし、CISGで車両を始動できるようになります。
5.	コンバインドインバーターDCDC (CIDD)	エンジンルーム	周波数コンバーターIGM (Inverter Generator Module) と電圧コンバーターDCDC (Direct Current Direct Current) を含みます。2個のコンポーネントは両方ともアルミケース内に格納されています。完全なユニットの重さは9.9kgです。
6.	電動モーター/ジェネレーター	エンジンルーム	さまざまな負荷に応じて、最適なAC電圧を作ることができます。
7.	エレクトリックACコンプレッサー (ELAC)	エンジンルーム	高電圧で作動するエアコン専用のコンプレッサーで、エアコン冷媒を圧縮します。
8.	ハイボルテージクーラントヒーター (HVCH)	フロントフェンダー内	ヒーター機能は、充電ケーブルが接続されている場合のみ可能です。
9.	エレクトリックリアアクスドライブ (ERAD)	車両後部	後輪を駆動します。

ハイブリッド車の特徴



3. 高電圧バッテリーの回収・リサイクルシステム概要

- (1) 取り外されたリチウムイオンバッテリーは、下図の流れで回収され、リサイクルされます。
- (2) なお、リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火・発火などの恐れがありますので、必ず取外しをお願いします。
- ①→⑤の順序で、リチウムイオンバッテリーは回収されます。
- ① 解体事業者様が、リチウムイオンバッテリーの取り外し、保管
 - ② 解体事業者様が『ボルボ使用済リチウムイオンバッテリー引取依頼票』（別紙）に必要項目を記入後、使用済リチウムイオンバッテリー回収受付センターへFAX送信
 - ③ 使用済リチウムイオンバッテリー回収受付センターから解体事業者様に、リチウムイオンバッテリー引取日時等の確認連絡
 - ④ 解体事業者様がボルボ・カー・ジャパン(株)指定の運搬業者に引渡し
 - ⑤ 弊社にてバッテリー受領確認後、回収依頼票の口座へバッテリー代金をお振込み



高電圧バッテリーの回収・リサイクルシステム概要

(3) 解体業者様の具体的な作業は、以下のとおりお願いします。+

1. 高電圧バッテリー回収マニュアルのP18以降を参照ください。+
2. 高電圧回路が装着されているため、取り扱いを誤ると漏電、感電などの危険があります。作業にあたっては、『低圧電気取扱特別教育』の受講が義務付けされています。(労働安全衛生法第59条ならびに労働安全衛生規則第36条)。
また、心臓ペースメーカーなどの電子医療機器を装着されている方は、作業を行わないで下さい。+
3. 取り外しされました、リチウムイオンバッテリーは必ず、パレットに載せタイラップ等で固定してください。+
4. 弊社ホームページから「ボルボ使用済リチウムイオンバッテリー引取依頼票」をダウンロードし、必要事項をご記入ください。+
URL: <http://vc-japan.jp/pdf/recycle.pdf>

(4) 解体業者様が、使用済リチウムイオンバッテリー回収受付センターへボルボ使用済リチウムイオンバッテリー引取依頼票をFAXでお送りください。+

(5) 指定運搬業者と引き取り日程を調整の後、運搬業者が伺いましたら、ボルボ使用済リチウムイオンバッテリー引取依頼票を運搬業者へ提示し、照合・確認をお願いします。+

(6) リチウムイオンバッテリーの所有権は、解体業者様が運搬業者様へ引き渡された時点で、解体業者様から移転したものとします。+

(7) リチウムイオンバッテリー代金

1. 弊社にてバッテリー受領が確認後、下記のバッテリー代金をお支払い致します。+
尚、バッテリー代金振込みは、日本通運株式会社より振込みがされます。+
2. XC90 T8 型式:DLA-LB420XCPA 及び DLA-LB420XCP 5,000円/個(消費税込) +
XC60 T8 型式:DLA-UB420XCPA 及び DLA-UB420XCP 5,000円/個(消費税込) +
V90 T8 型式:DLA-PB420PA 及び DLA-PB420P 5,000円/個(消費税込) +
※上記は 2018 年1月現在の金額です。金額は予告なく変更される事がありますのでご了承ください。+

(8) リチウムイオンバッテリーの引き取りをお断りする場合

1. 本マニュアルに従わず、意図的に分解されたもの、あるいは重機等を使用して取り外したために破損したものなどは、輸送時の安全確保に支障をきたすおそれがあることから、引き取りをお断りする事がありますので、あらかじめご了承ください。+

高電圧作業 準備品一覧

4. 高電圧作業 準備品一覧


当車両の高電圧作業を行う際には、以下の準備品を用意してください。

準備品一覧

準備品	用途
電圧テスターまたはマルチメーター (Cat3 等級)	電圧を測定します。
保護バイザー	高電圧バッテリー電解液が漏れている際に皮膚や目を保護します。
絶縁手袋	作業者の感電事故を防止します。
警告表示	許可のない者の作業エリアへの立ち入りが禁止されていること、危険な高電圧部位が露出している可能性があることを示します。
禁止標識	作業エリアへの立ち入り禁止を示します。
ポスト/コーン	電気の危険な作業が伴うため立入禁止であることをはっきりと示します。
絶縁フック	絶縁フックは、電気ショックを受けて自分では離脱できない人を切り離して移動することを目的とします。

絶縁手袋 使用前点検

5. 絶縁手袋 使用前点検

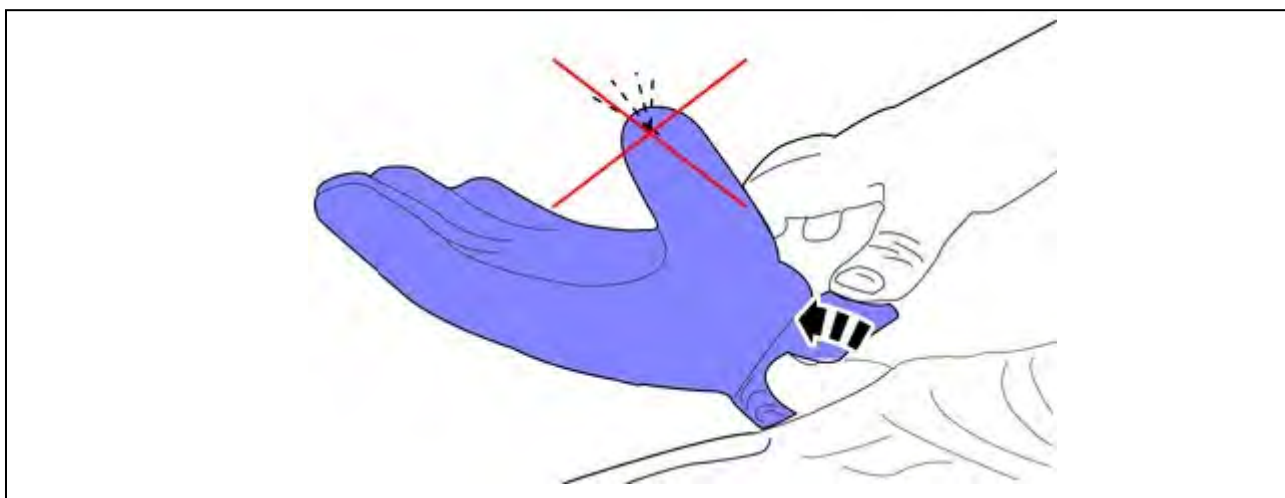
 警告	高電圧作業を行う際に異常がある絶縁手袋を使用すると、感電し重大災害を引き起すおそれがある。絶縁手袋使用时には使用前点検を行い、異常がないことを確認する。
	絶縁手袋の使用前点検では息を吹き込んでの点検は行わない。絶縁手袋内の湿潤が原因で感電し重大災害を引き起すおそれがある。

- 作業者本人が、使用する保護具および工具の老朽や破損状態について使用前点検を行う。
- 絶縁手袋は、必ず使用前に次の方法で、傷、穴、破れ、ひび割れなどの損傷が無いことを確認する。また、湿潤した絶縁手袋は使用しない。

(1) 絶縁手袋使用前点検手順

- 1) 絶縁手袋全周に傷がないことを目視により確認する。
- 2) 絶縁手袋の袖口を広げ、空気を入れる。
- 3) 空気が漏れないように手首のあたりまで袖口を巻込む。
- 4) 袖口を折りたたみ密閉する。
- 5) 空気の漏れがないか手袋を耳にあて確認する。


参考	絶縁手袋に穴および破れがある場合、「シュー」音がする。
-----------	-----------------------------



高電圧作業上の諸注意

6. 高電圧作業上の諸注意

(1) 高電圧部位（部品）に関する注意事項

 警告	<p>当車両が有する高電圧部品の取り外し作業は、労働安全衛生法が定める危険業務に該当する。そのため、高電圧部品の取り外し作業は低圧電気取扱特別教育を受講した作業者が行う。</p>
	<p>高電圧部品の取り外し作業は、絶縁手袋を着用して行う。絶縁手袋を着用せずに高電圧部品に触れると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。</p>
	<p>高電圧部品の取り外し作業は、マニュアルサービスディスコネクター（MSD）を取り外して120秒経過した後に開始する。マニュアルサービスディスコネクター（MSD）を取り外さずに作業したり、マニュアルサービスディスコネクター（MSD）を取り外して120秒経過しないうちに作業したりすると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。</p>
	<p>マニュアルサービスディスコネクター（MSD）の取り外しは、高電圧部品を取り外す作業者が行う。取り外したマニュアルサービスディスコネクター（MSD）は、高電圧部品の取り外しが終わるまで作業者がポケットに入れる等して携帯し、他の作業者が誤ってマニュアルサービスディスコネクター（MSD）を取り付けることがないようにする。</p>
	<p>高電圧部品の取り外し作業中にタイヤを回転させない。タイヤが回転すると発電が行われるため、マニュアルサービスディスコネクター（MSD）を取り外していても、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。</p>
	<p>高電圧部品の取り外しをする際は、車両に“警告表示”を設置し、他の作業者に注意喚起する。</p>
	<p>ペースメーカー等、電子医療機器を装着している方は絶対に作業を行わない。また、キャッシュカード、プリペイドカード等、磁力の影響を受け故障するおそれのある磁気記録媒体を身に着けて作業を行わない。当車両には強力な磁石が用いられている部品があり、電子機器に大きな影響を与えるおそれがあるため、作業時は十分注意する。</p>
	<p>高電圧回路のケーブル類（オレンジ色）や高電圧に関わる部品（高電圧警告ラベルが貼り付けられている機器）には不用意に触らない。感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。</p>
	<p>取り外した高電圧バッテリーは、雨水に濡れないよう車両に搭載されていた姿勢で保管する。マニュアルディスコネクター（MSD）は、抜いた後は再取り付けしない。水がかるとショートによる発熱が原因で火災が発生する危険性がある。</p>

高電圧作業上の諸注意

(2) マニュアルサービスディスコネクター (MSD) および端子の絶縁処理

- 絶縁被覆のない高電圧端子に触れる場合は、絶縁手袋を着用し、事前にテスターで電圧が 60V 以下であることを確認します。
- 切り離れたマニュアルサービスディスコネクター (MSD) は、端子が露出しないようにマニュアルサービスディスコネクター (MSD) 切り離し後、ただちに絶縁テープで保護します。

(3) 作業中の携行禁止品

- 当車両は高電圧部位があるため、金属製のスケール、シャープペンシル、ネックレスなどのアクセサリが作業時に高電圧部位へ落下した際に短絡し、アークの飛散、部品の損傷につながります。作業前に金属製品は取り外します。
- 当車両は、強力な磁力を持つ部品が使用されており、高電圧作業を行う際に磁気記録媒体（キャッシュカード、プリペイドカードなど）を携行していると、記録データを破壊するおそれがあります。高電圧作業時は、磁気記録媒体を身に付けないでください。

(4) 高電圧作業中の標示板

- 高電圧作業時は、“高電圧作業中であること”を周囲の人に注意喚起するため、「警告表示」を行います。（次頁をコピーしてご活用ください）

マニュアルサービスディスコネクター (MSD) 取り外し後の高電圧端子部の電圧が60V以下であることが確認できない等、異常があった場合、その他ご不明の点は、直ちにお客様相談室までご連絡ください。

警告表示




高電圧作業中
触るな！！

作業担当者： _____


高電圧バッテリーの取り扱いについて

7. 高電圧バッテリーの取り扱いについて

(1) 高電圧バッテリー取り外し時の注意事項

 注意	使用済みとなった車の高電圧バッテリーは基本的に充電状態にあり、高電圧バッテリー本体が破損した場合、スパークや発火、液漏れ事故の原因となるため、ニブラ（自動車解体機）や重機など、高電圧バッテリー本体を破損させるおそれのある方法で取り出すことは絶対にしない。
	高電圧ケーブル類（オレンジ色）の切断は絶対にしない。
	高電圧バッテリーを破損させるような衝撃を与えない。 （車載のままプレス・フォークリフト等による突き刺し・高所からの落下等）
	外部電源を用いて高電圧バッテリーを充電/放電しない。
	高電圧バッテリーを45°以上傾けない。
	高電圧バッテリーの端子部は、絶縁手袋を着用して絶縁テープを貼り絶縁する。
	本マニュアルの取り外し方法に記載した事項以外の高電圧バッテリーの分解は、絶対にしない。



(2) 高電圧バッテリー保管時の注意事項

 注意	高電圧バッテリーの端子部は、絶縁手袋を着用して絶縁テープを貼り絶縁する。
	高電圧バッテリーを火に近づけたり、加熱したりしない。
	高電圧バッテリーを水がかかる場所に放置しない。水がかるとショートによる発熱が原因で火災が発生する危険性がある。
	車載状態と同じ向きで保管する。（45°以上傾けたり、縦に置いたりしない）
	高電圧バッテリーは40℃以下の環境で保管する。
	高電圧バッテリーを金属など導電性のある面上に保管しない。
	高電圧バッテリーを密閉容器に入れない。
	高電圧バッテリー下面には、絶縁素材（ゴムなど）のマットなどを敷く。
	高電圧バッテリーの上に物を置かない。

高電圧バッテリー液漏れ時の注意事項

8. 高電圧バッテリー液漏れ時の注意事項


高電圧バッテリー付近に液漏れの可能性がある場合、速やかにお客様相談室に連絡し、取り扱いについての指示を受けてください。

 警告	高電圧バッテリーの電解液は強アルカリ性のため、電解液が漏れている場合は、素手で触れない。保護メガネ、保護ゴム手袋、有機溶剤用ガスマスクを着用してウエス等で拭き取る。
	電解液が直接皮膚に触れた場合、直ちに多量の流水でよく洗い流す。電解液がかかった衣服はすぐに脱ぐ。
	電解液に触れたり目に入ったりした場合は多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受ける。
	万一、電解液を吸入した場合は、直ちに被災者を毛布等に包んで安静にさせ、空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の診断を受ける。
	万一、電解液を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、多量の水を飲ませて電解液を薄めて、速やかに医師の診断を受ける。
 注意	電解液漏出時に使用した吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事時の許可を受けた専門の産廃業者に委託する。
参考	車両周辺に液漏れがある場合、リトマス試験紙により pH を確認する。リトマス試験紙（青色）が赤色に変わった場合、漏れている液体はリチウムイオンバッテリーの電解液の可能性があり。保護メガネ、保護ゴム手袋、有機溶剤用ガスマスクを着用してウエス等で拭き取る。

高電圧バッテリー火災時の対応

9. 高電圧バッテリー火災時の対応

- 車両火災が発生している場合は、直ちに消防署へ通報し、可能であれば初期消火を実施してください。
- 車両を離れる場合には、消火作業に当たる人に、当車両がハイブリッド車（高電圧を有する車両）であることを伝え、注意喚起してください。

 警告	火災時に消火器を使用する場合は、ABC消火器（普通火災、油火災（ガソリン、石油などによる火災に有効な消火器）、電気火災（電気配線、電気機器などによる火災）に有効な消火器）を使用する。
	火災時に水で消火する場合は、消火栓などから大量の放水が可能なおきのみ行う。少量の水での消火作業はかえって危険な場合があるため、消火は行わず安全な場所に避難し、消防隊の到着を待つ。

10. 高電圧バッテリーの引き取りをお断りする場合


- 高電圧バッテリーは高電圧を伴う自動車部品のため、本マニュアルに従った適切な取り扱いが必要です。本マニュアルに従わず、高電圧バッテリーを分解したもの、あるいはニブラや重機等を使用して取り外す等、不適切な取り扱いによって損傷等を生じた高電圧バッテリーは非常に危険な状態となり、回収時等の事故発生の原因にもなりますのでお引き取りできません。
- ボルボ・カー・ジャパン（株）が国土交通省に届け出をした部品（高電圧バッテリー）以外は、ボルボ・カー・ジャパン（株）ではお引き取りいたしませんので、あらかじめご承知おきください。
- その他特別な対応が必要と思われる状態の高電圧バッテリーの取り扱いにつきましては個別にご相談ください。

お引き取りできない事例








- (1) マニュアルサービスディスコネクター（MSD）を取り外していないもの
- (2) 高電圧回路のケーブル類（オレンジ色）を切断したもの
- (3) ニブラや重機等を用いて高電圧バッテリーを取り外したため、高電圧バッテリーが破損・変形したもの
- (4) 高電圧バッテリーケースを取り外したもの
- (5) 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

高電圧バッテリーの取り外し

11. 高電圧バッテリーの取り外し

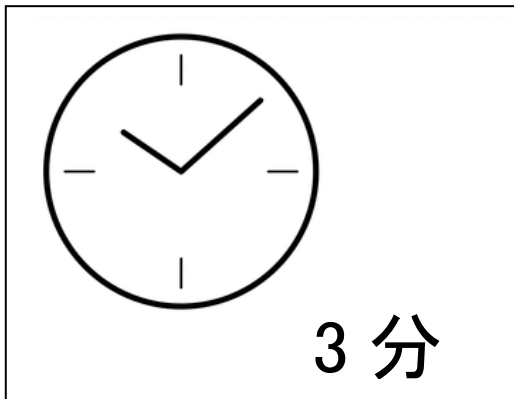
 警告	高電圧バッテリー取り外し作業を行う前に必要な処置を怠ると感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。高電圧バッテリー取り外し作業を行う前には、「7. 高電圧バッテリーの取り扱いについて」を参照し、必要な処置を講じてから作業を開始する。
---	---

準備品一覧

		
絶縁手袋	電圧テスター	
		
保護バイザー	ポスト/コーン	絶縁フック
 XXX XX XXXXXXXXX XXXXXX XXXXX _____ _____ XXXXXXXX XX	 高電圧作業中 触るな！！ 作業担当者 _____	
禁止表示	警告表示	

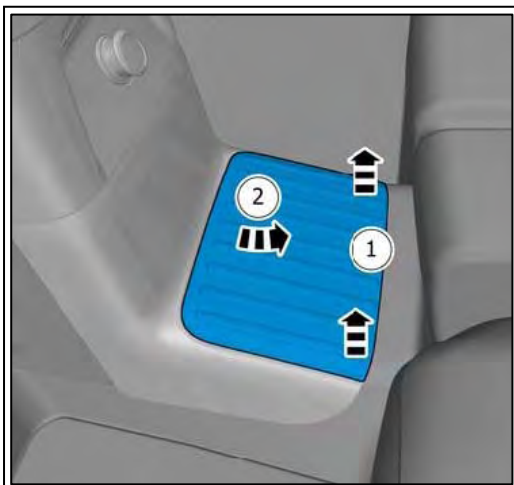
高電圧バッテリーの取り外し

- (1) 12V バッテリー (-) ケーブルを切り離す。
- (2) 12V バッテリーが切り離された瞬間からの時間をカウントする。



警告

次のステップを続行する前に、3分間待機する。



- (3) トンネルコンソールを取り外す。



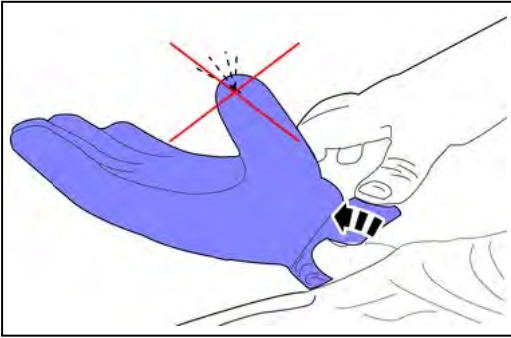
注意

トンネルコンソールの取り外しは、十分注意して取り扱うこと。



- (4) 絶縁手袋と保護バイザーを使用する。

高電圧バッテリーの取り外し

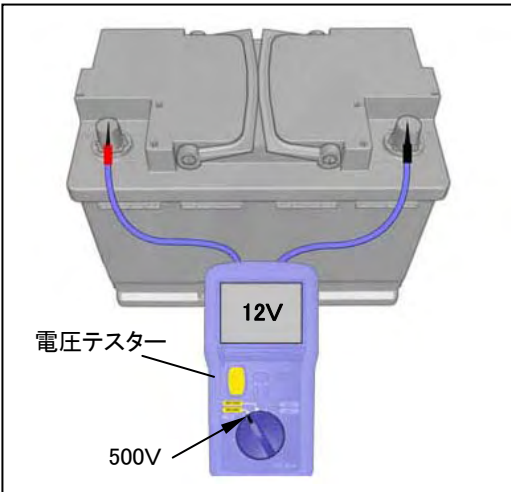


(5) 絶縁手袋を使用する。



警告

漏れがないか点検する。

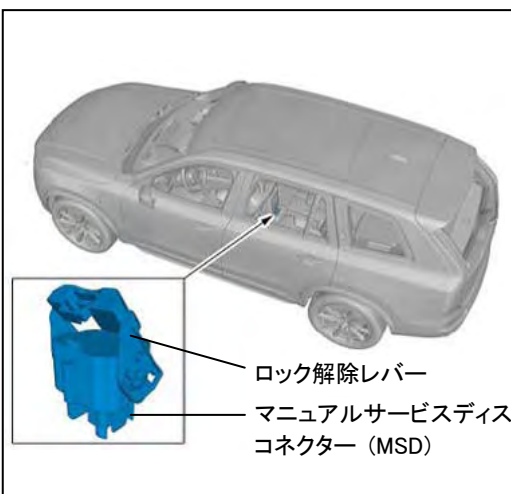


(6) 電圧テスターを使用する。



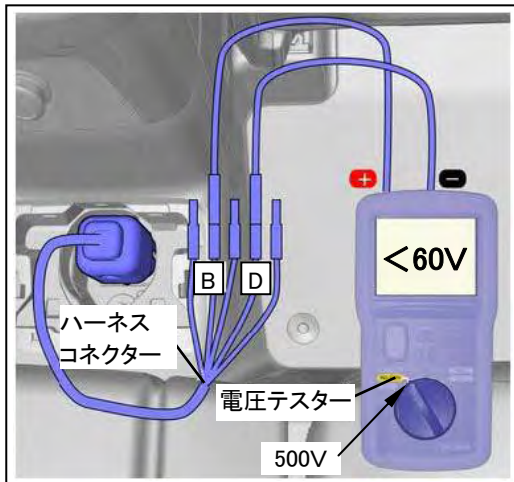
警告

電圧テスターの測定機能を点検する。



(7) マニュアルサービスディスコネクター (MSD) を取り外す。

高電圧バッテリーの取り外し

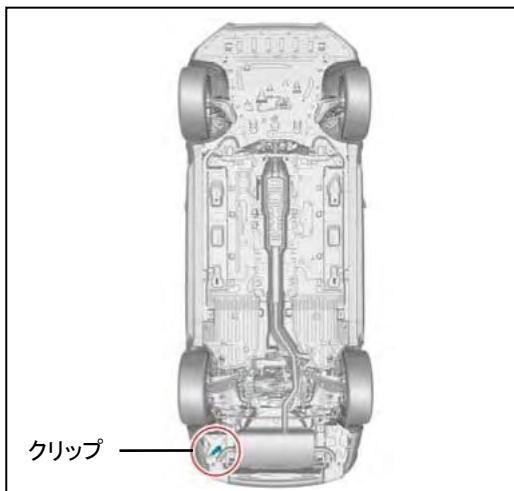


(8) 電圧テスターを使用する。

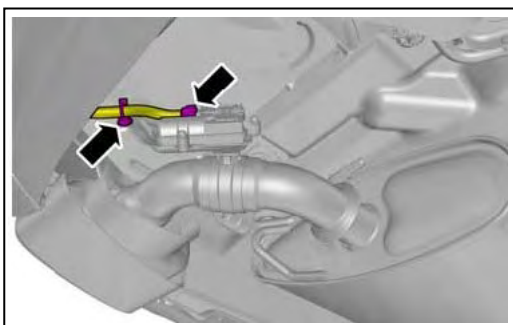


警告

- ポジション B と D の間の電圧測定を行う。
- 電圧レベルが 60V 以下であることを確認する。

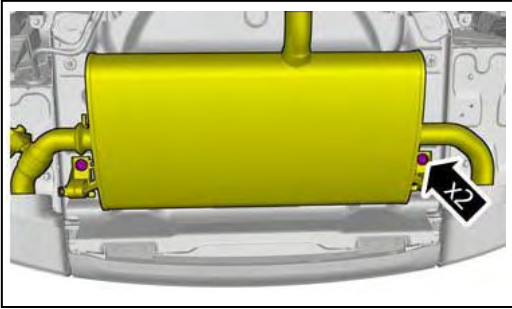


(9) クリップをゆるめる。

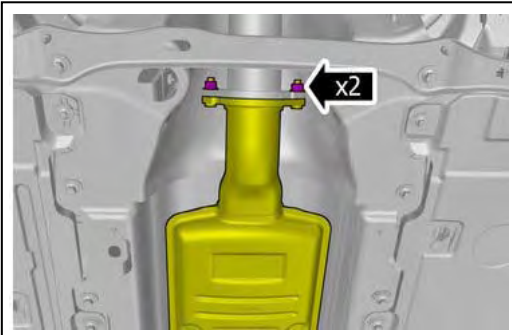


(10) コネクタを切り離す。

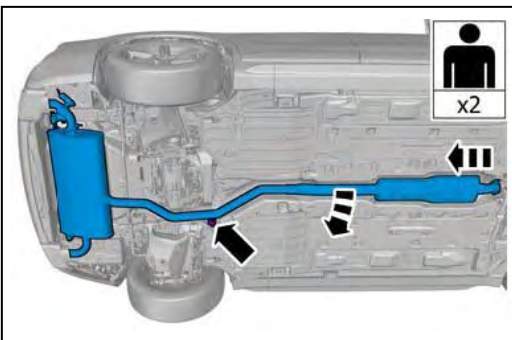
高電圧バッテリーの取り外し



(11) スクリューを取り外す。



(12) ナットを取り外す。



(13) ファスナーを取り外す。

(14) エギゾーストシステムエンドパイプを取り外す。

(15) クリップをゆるめる。

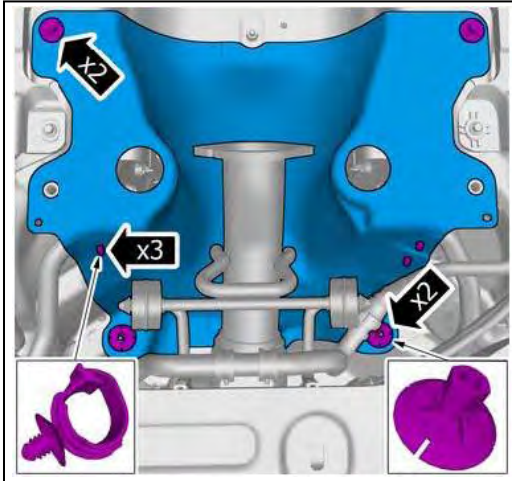
(16) スクリューを取り外す。



注意

コネクター、ケーブル及びケーブルタイの数は車両の仕様により異なる場合があります。

高電圧バッテリーの取り外し

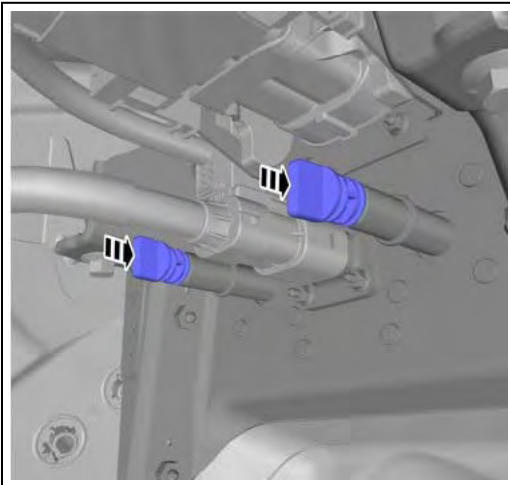


- (17) クリップをゆるめる。
- (18) スクリューを取り外す。
- (19) エグゾーストシステムインシュレーターを取り外す。



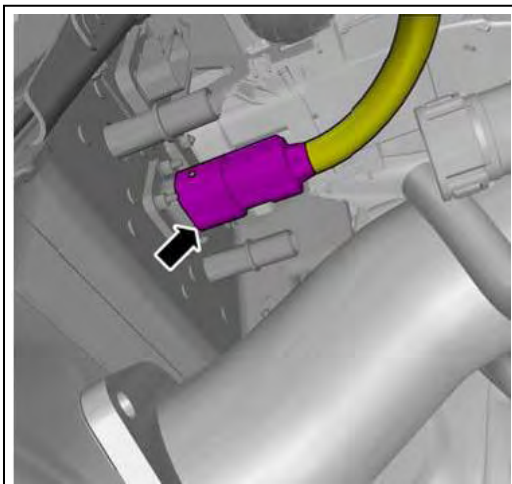
警告

漏れ出てくるフルードを回収する用意をしておく。



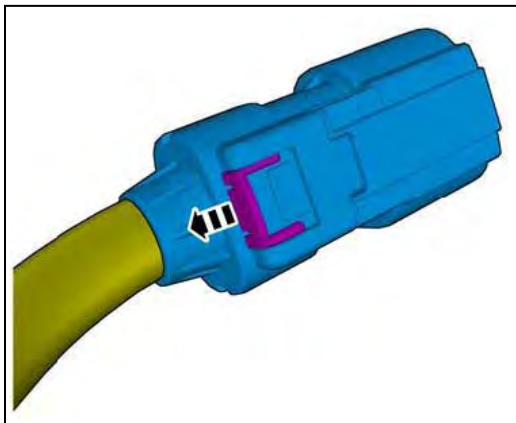
- (20) フルードが漏れ出てこないように栓をする。

■フューエル式エンジンクーラントヒーター非装備の車両

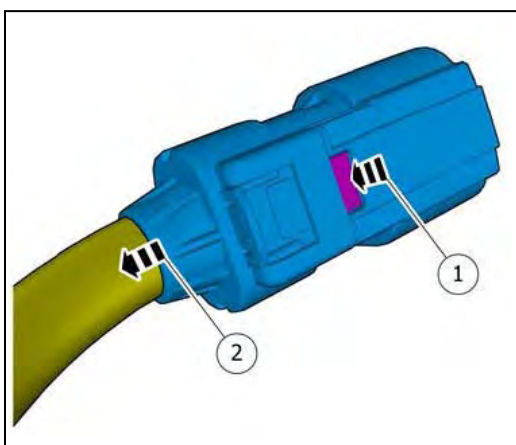


- (21) コネクターを切り離す。

高電圧バッテリーの取り外し

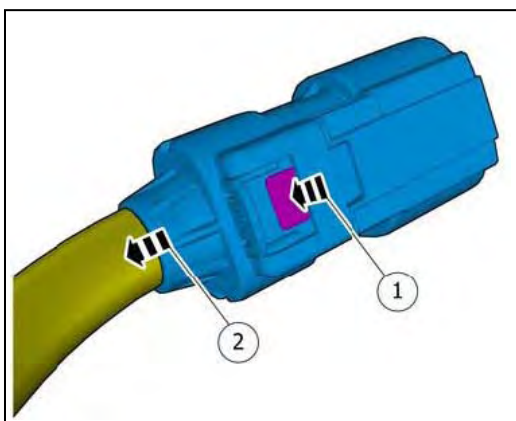


(22) ロックを外す。



(23) ロック装置を押す。

(24) コネクターを切り離す。



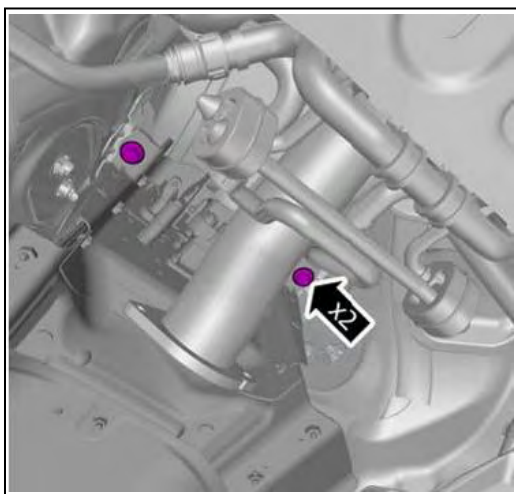
(25) ロック装置を押す。

(26) コネクターを切り離す。

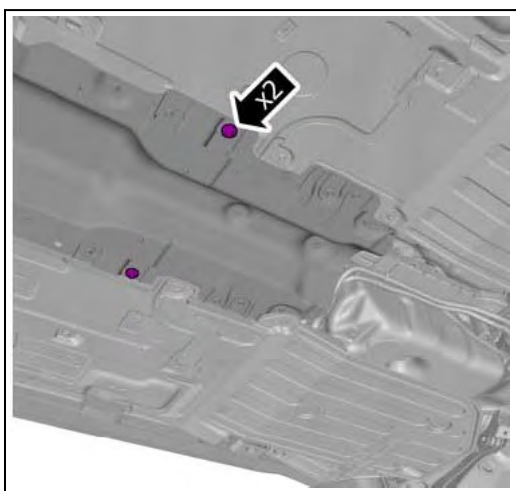
高電圧バッテリーの取り外し

■全ての車両

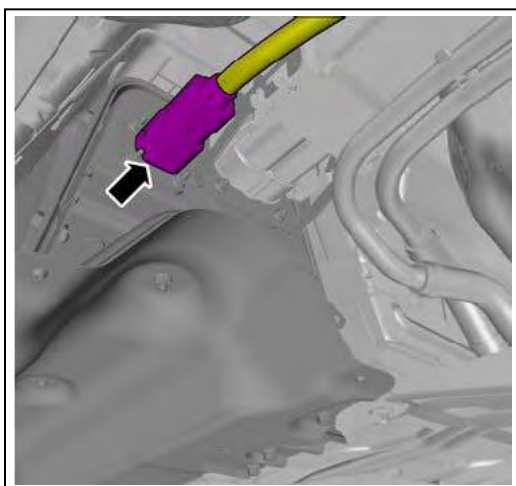
(27) スクリューを取り外す。



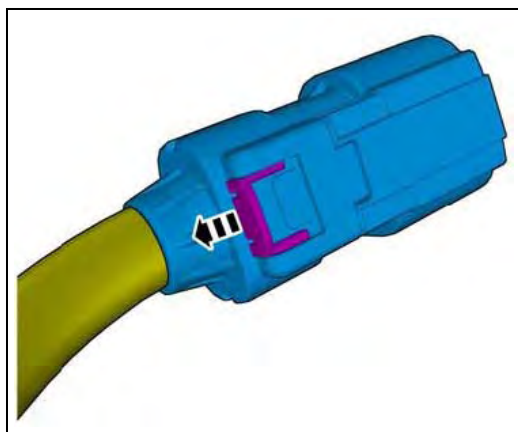
(28) スクリューを取り外す。



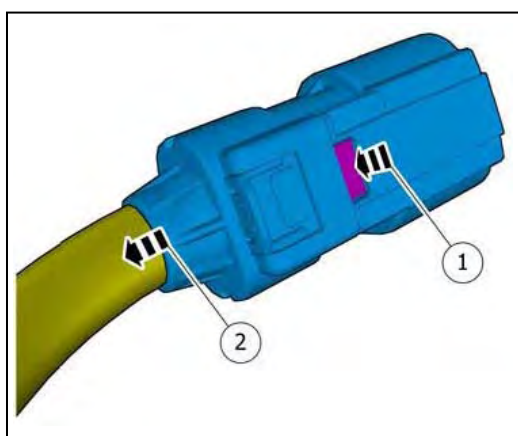
(29) コネクターを切り離す。



高電圧バッテリーの取り外し

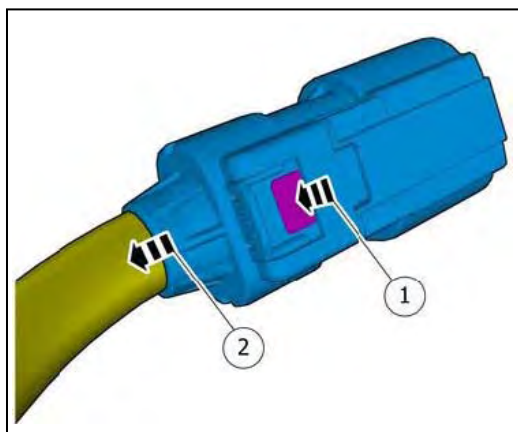


(30) ロックを外す。



(31) ロック装置を押す。

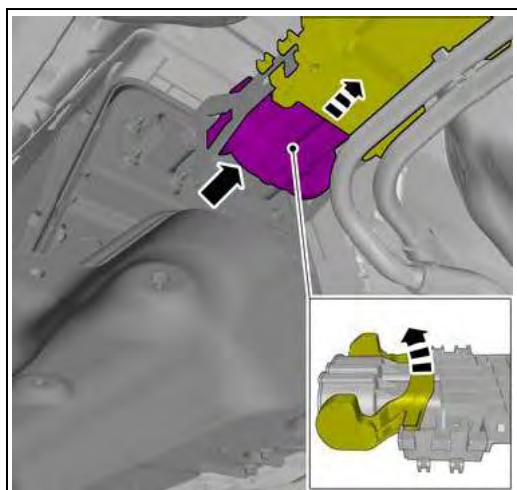
(32) コネクターを切り離す。



(33) ロック装置を押す。

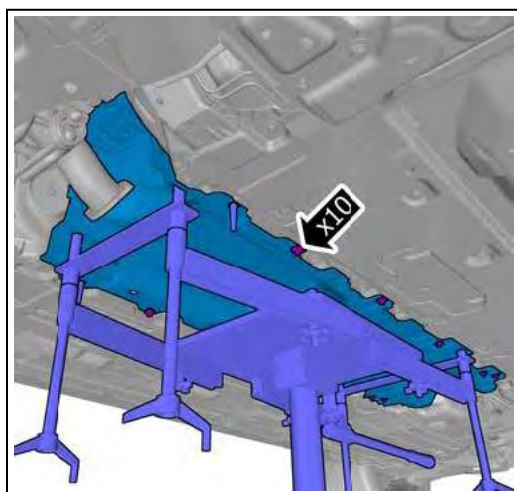
(34) コネクターを切り離す。

高電圧バッテリーの取り外し



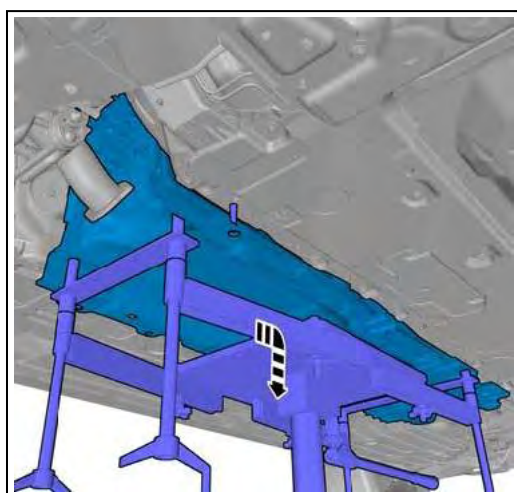
(35) コネクタのキャッチを外す。

(36) コネクタを切り離す。



(37) エンジンリフターをセットする。

(38) スクリューを取り外す。



(39) 高電圧バッテリーを取り外す。

高電圧バッテリーの取り外し

(40) 高電圧バッテリーをエンジンリフターから降ろす。



注意

高電圧バッテリーの重量は約113kgである。高電圧バッテリーの運搬は2人で行う。

(41) 高電圧バッテリーをパレットに乗せて、タイラップ等で固定する。

高電圧バッテリーの取引依頼票

ボルボ使用済リチウムイオンバッテリー引取依頼票

<依頼先>

使用済リチウムイオンバッテリー回収受付センター 宛
FAX 011-863-3533



ご依頼日	西暦	年	月	日	
回収依頼者 情報	会社名 :	担当者ご氏名 :			
	店舗・営業所住所 :	〒			
	Eメールアドレス :				
	電話 :	()		-
	FAX :	()		-
定休日 :					
車名	(例 ボルボ XC90等)				
車台番号	例 (YV1LFBAMDG1234567)				
初年度登録年月	西暦	年	月	日	① 受付後、引取に何うまで1週間程度必要です。
回収ご希望日	西暦	年	月	日	② 直射日光、高温、多湿の場所を避け、風通しが良く、雨水、海水等で濡れない場所に保管してください。
高電圧バッテリー の状態	確認内容				確認チェック
	外観に破損、変形、液漏れはない。(破損等がある場合はその状態を下欄にご記入ください。)				<input type="checkbox"/>
	雨水にぬれない状態で保管していた。(雨水で濡れた場合、屋内に移動させ乾燥させて下さい。)				<input type="checkbox"/>
その他気づき事項					
廃車の状態	わかる範囲で、該当する記号、番号を○で囲んでお答えください。 廃車理由 : A 通常廃車 B 事故車 C 冠水車 D その他 【コメント記載欄】 上記質問で、それぞれのその他を選択した場合、具体的に内容を記載ください。				
振込口座※1	金融機関名	金融機関コード		支店名	支店コード
		口座種別	1.普通 2.当座	口座名義	フリガナ
		口座番号			

※1)郵便局をご利用の場合はゆうちょ銀行の口座番号をご記入ください。

※2)依頼者様の個人情報を引取記録および支払手続きにのみ使用し他の目的には一切使用いたしません。

(2015年12月発行 V1.0)